

第 1 1 回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成 2 4 年 1 0 月 1 2 日 (金) 午前 9 時から午前 1 0 時 1 5 分まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟 4 階 特別会議室
- 3 出席者 別紙 (出欠一覧) 参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 人口推計及び人口フレーム設定
(2) 資料-2-1 基本構想で示す大綱 (都市像) の構成
(3) 資料-2-2 基本構想で示す大綱 (都市像) 新旧対照
(4) 資料-3 序論骨子案 (仮称) 吹田市総合計画・2020 ロードマップ
(5) 参考資料-1 将来人口集計報告書 (案)
(6) 参考資料-2 見直し後の総合計画構成イメージ
(7) 追加資料 基本構想第 1 章抜粋

5 議事内容

(1) 人口フレームについて

ア 資料-1 及び参考資料-1 をもとに、まちの将来像について質疑・意見交換を行った。

【質疑応答事項】概要

質問 1 : 人口フレームという言葉は耳慣れない。人口の構造変化に伴う政策の骨組みという理解でよいか。

回答 1 : はい。

質問 2 : 交流人口とはどういうイメージか。

回答 2 : 外から来る人のこと。転入で入ってくる人、観光に来られる人なども含む。

意見 3 : 交流人口の定義がはっきりしない。

回答 3 : これと決まった一般的な定義はないので、計画の中で明記する必要がある。

意見 4 : 交流人口と流入人口との違いが分かりにくい。

回答 4 : 交流人口は流入人口も含んでいる。

意見 5 - 1 : 定義がないから混乱する。

意見 5 - 2 : まちを活性化するための交流が必要なら、交流人口という言葉を使わないでも表現できる。市民に分かりやすい計画をつくるなら、混乱を招く表現は避けた方が良い。

回答 5 : 表現を工夫する。

意見 6 : 居住人口を意味しているのか、通過人口すなわち訪れる人のことか。きちっと整理が必要。

回答 6 : 文言を整理する。

質問 7 : 将来人口の設定について、「将来人口については・・・」の部分で、二つの施策が提示されている。選択と集中ということで施策を絞り込んで示す必要はあると思うが、この流れで示してしまうのは適切なのか。

指示 7 : 施策という答えが先に来ちゃっているんで、組立の順番に違和感がある。まずは、追加資料で都市魅力の説明を。

イ 追加資料をもとに、都市魅力についての説明を行った。

質問 8 - 1 : 二重線のところで、交流人口と定住人口の促進は並列の意味か。並列の場合、交流人口の年齢構成などは考慮しないのか。

質問 8 - 2 : 人口推計では、吹田市をめぐる諸条件の変化を要素として考慮していないということでは間違いはないか。

回答 8 : 政策的な要素は考慮していない推計となっている。

意見 9 : 定住化へ促進するためには、何らかの政策が必要ということ。昼間・夜間人口の年齢構成を整理して、定住化を促進したい年齢層をターゲットにして政策を打っていかないといけない。

指示 9 : 分析についての御意見として受け取っておくこと。

質問 10 : 「バランスのとれた人口構成」とあるが、いつの時点のことか。都市魅力については、留学生が多く、国際色が強いというのも本市の特徴。これも活かせるよう都市魅力に入れてはどうか。

回答 10 : 「まちづくりの主要課題」の「次代を担う子どもが成長する環境づくり」のあたりでグローバル化のことも言及できればと考えている。

意見 11 : グローバル化は経済の話だけでなく、もっと全体的な話ではないか。千里丘の住宅でも、国際性を意識したコンセプトにしている例がある。民間は国際性を先取りしている状況。関大の留学生会館の例もある。市民がそれぞれに国際化に対応しており、それは加速する傾向にある。

意見 12 : 横断的な要素が必要ではとのことだが、他のみなさんの意見はどうか。海外も意識して、国際社会の中の一員という視点で書くべき。

意見 13 : もう一つ、「インフラ」という言葉は基盤整備のように受け取られがちなので、「社会資本」という言葉に置き換えて使っている。ストックマネジメントの意味もあるので、この社会資本という言葉の使い方は重要。

意見 14 : 横串として、環境という切り口もあってもいいかもしれない。

意見 15 : 最先端の医療技術があるまちなので、国際性はあってしかるべきという意見が市役所の外部からもある。

意見 16 : 例えば英語教育などは、学校教育の範囲に限定されず、社会につながっていくことに意味がある。そういう意味では、まちの国際化ということは必要になるのでは。

意見 17 : 子どもの学びという話が出たが、子どもについての施策は遅れをとっている。社会潮流から言って子どもは大切な要素なのに、なぜ「市民力・地域力の向上」が一番初めに挙げられているのか、違和感がある。子どもが成長する環境づくりを一番に挙げるべきなのでは。

意見 18 : 構成については、やはりベーシックな流れがいいと考える人もいるだろう。他のみなさんの御意見を伺いたい。

意見 19 : コミュニティで行われている体育祭では外国人の姿が見られ、地域のみなさんも歓迎しているようだった。自分の国に帰っても、吹田のいいところを伝えてくれるだろう。吹田を海外に発信できるような魅力的なまちにするためにも、国際性

の視点は大切。

意見 20：同感。まちのなかに異文化が共存している時代に突入している。

質問 21：「(1) 市民力・地域力の向上」で、「地域」と「地区」を意識的に使い分けしているのだろうか。

回答 21：使い分けしている。地域という言葉は、コミュニティを指したり地方自治体そのものを指したり、いろいろな使われ方をする場合がある。他にいい言葉があれば検討したい。

意見 22：初めて読む市民は、使い分けが理解できないかもしれない。

意見 23：使い分けがうまくいっていないのではないか。(仮称)地域委員会についての議論の中では、「地域のことは地域で」としている。これを地区という言葉に置き換えると違和感がある。

指示 23：地域という言葉の使い方については議論の掘り下げが必要ということと受け取っておくこと。

追加説明 24：交流人口については、国の政策の中で唱えられている。これからは定住者に対する施策だけでなく、交流人口を増やしていくという施策展開も必要という考え。言葉の使い方については、定義を明確にすることがまず必要。

(2) 基本構想で示す大綱(都市像)の構成について

資料 2-1、資料 2-2 を用いて大綱の修正点について説明した。

【質疑応答事項】概要

質問 25：農地の保全と活用という内容を検討しているとのことだが、これはみどりとしてということか。生産緑地についてこれまで市が取ってきた対応と、整合はとれるかどうか。農地として残そうとすれば、わざわざ生産緑地に指定するという意味になってしまう。所有者が売りに出した時に、市は購入などの可能性も含めた意思表示をしていくということか。

指示 25：みどりの総量と質の関係。担当所管内部で掘り下げておいてほしい。

意見 26：農業については、吹田では産業としてよりも、市民・子どもの学習の場、体験の場として重要。みどりの話よりも、こういう観点が大事ではないか。

指示 26：では、今の話を逆提案してもらって、それを部会に提示して議論してもらうことにする。

意見 27：表現を統一されたということだが、あと一步。都市像の表現にまだばらつきがあるようなので、統一する必要があるのでは。

質問 28：「子育て・教育」の都市像で「ともにつながり未来を拓く人づくり」というのは、文章の途中どこかで切れるのか。

回答 28：「ともにつながり」は「未来を拓く」と「人づくり」の両方にかかっていたように思う。

(3) 序論骨子案(仮称)吹田市総合計画・2020 ロードマップについて

参考資料-2 は全体の構成イメージであること、これを部会に返して意見をもらいたいことを説

明した。

もう一点、将来像と都市像の仕分けが必要という意見があったため、名称を変更したいと考えており、意見や提案を担当までお願いしたいことを説明した。

(4) その他

事務局から11月18日(日)のフォーラムの案内をした。

1 委員

	構成委員	第11回 (10/12)
1	富田副市長	
2	山中副市長	
3	清多水道事業管理者	×
4	牲川病院事業管理者	
5	西川教育長	
6	赤野危機管理監	
7	川下総務部長	
8	太田行政経営部長	
9	木下市民生活部長	
10	木野内人権文化部長	
11	平野まち産業活性部長	
12	赤松こども部長	
13	門脇福祉保健部長	
14	羽間環境部長	
15	森都市整備部長	
16	保田道路公園部長	
17	井口下水道部長	(代理) 伴室長
18	西山会計管理者	
19	松中消防長	
20	川上水道部長	
21	坂田市民病院事務局長	(代理) 前田次長
22	徳田教育総務部長	
23	梶谷学校教育部長	
24	上原教育委員会事務局理事	(代理) 橋本次長
25	原田地域教育部長	

24

2 事務局

1	美馬次長	
2	井尻次長	
3	春藤室長	
4	木下総括参事	
5	岸本参事	
6	津田主査	
7	十川係員	
8	稲見係員	
9	藤田臨時雇用員	

9